

さよなら、魂の火傷

ピルヨ・ホンカサロ監督作品

1998年ロサンゼルス国際映画祭 グランプリ受賞
1998年ロカルノ国際映画祭 特別賞/新人賞受賞



白夜の 時を越えて

A FILM BY PIRJO HONKASALO

監督:ピルヨ・ホンカサロ/製作:マルコ・リョール/脚本:ピルヨ・ホンカサロ/撮影:エリカ・ラゲルルース
美術:ティナ・マッコネン/セット:クリスティアナ・トローラ/音楽:リカルド・アインホルン/編集:ミカエル・レスチロヴォスキー、ヘルンハルト・ヴァンクレル
出演:エリナ・フルム、ティナ・ヴェツクスシム、エリナ・レーベ、エルサ・サイネ、ウツァップ・ユルツカ、ホルディ・ホレル
協賛:フィンランドセンター 後援:フィンランド大使館 配給:アップリンク www.uplink.co.jp



強く結びついた二人の魂は永遠に一緒だと信じた少女の私、大人の私、時を越えて進む二つの物語…



白夜の街ヘルシンキに生まれた双子の姉妹ヘレナとイレネ。次々と悲しい運命が襲う中、二人の魂は強く結び付いていった。器用で美しい姉イレネと、不器用なヘレナ。二人の前にある日、かつて去った母親がサーカスの男と現われ、母娘はサーカスと共に激動のヨーロッパをさすらっていく。空中ブランコから落ち、心に傷を負ったイレネ。ヘレナは秘かに火吹き芸を覚えていた…。

時は交差し、現代を生きる大人のヘレナ。ある夜、酒場で歌う少女に出会う。慕ってくるその少女に過去の自分の姿を重ね、かたくなな心を溶かしていく彼女。長い夜の闇をさまよっていたヘレナが、光の中に足を踏み出す瞬間はいつ訪れるのだろうか…。

音楽にグラミー受賞の天才作曲家 リカルド・アインホルン

撮影はフィンランド国内でのオールロケーション。果てしなく続く道、深く薄暗い森や凍てつく湖など北欧独特の大自然の風景が、静かにそして強く映画を印象づける。注目すべきは、思春期のヘレナ役とイレネ役を好演している少女たち。空中ブランコ、火吹き等のサーカスシーンを体当たりで演じ、その瑞々しい演技力は賞賛を集めている。音楽は、「病的なまでに美しく官能的、魂を揺さぶられるほどの感動」と評される作曲家リカルド・アインホルン(1957年生)。ヨーヨー・マとのコラボレーションで発表したバッハの『無伴奏チェロ組曲』のCDは、グラミー賞のベスト・インストゥルメンタル・パフォーマンス賞を受賞している。本作は、1998年ロサンゼルス国際映画祭グランプリ、ロカルノ国際映画祭特別賞、新人賞を受賞している。



北欧フィンランドの光と影の叙情派、女性監督ピルヨ・ホンカサロ

ヘルシンキの大手雑誌社でカメラマンを努め、その後、演劇、オペラの舞台デザインを手掛けるなどアーティストとして活躍したのち映画界入りしたピルヨ・ホンカサロ(1947年生)。ヒンドゥー教徒の巡礼の旅を追った作品『Atman』(1996)で、アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭グランプリを受賞した後、本作で10年ぶりにフィクションの世界に戻ってきた。

「『我々は愛するものの存在を無条件に受け入れることができる』シモース・ヴェーユのこの言葉を胸に私はこの映画を撮影しました。愛と別離、世代間の葛藤、そして自分を認識しはじめる複雑な年代、思春期の頃を描きました」

ピルヨ・ホンカサロ



1998年ロサンゼルス国際映画祭 グランプリ受賞 1998年ロカルノ国際映画祭 特別賞/新人賞受賞

白夜の 時を越えて

ピルヨ・ホンカサロ監督作品

配信: アップリンク
www.uplink.co.jp

1998年/フィンランド映画/100分/カラー&モノクロ/35mm/1:1.85/原題: FIRE-EATER 協賛: フィンランド センター 後援: フィンランド大使館

●愛と感動の北欧映画 第1弾●

11/3(土)より運命のロードショー!

連日 12:50 2:50 4:50 6:50

特別鑑賞券1400円好評発売中!!

■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円

※ただし、11/9(金)6:50の回は休映

ツインズ(双子)割引
お1人様1000円に!!
お2人でご来場下さい。

【11/16(金)まで】

シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416
シネ・ヌーヴォのホームページアドレス
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

地下鉄中央線		→本町	
九条駅			
←大坂港	プ イ ル タ ー	ナ ル ド	6 番 出 口
シネ・ヌーヴォ	マ ク ド	う ど ん	ナ イ ン モ ー ル
	パ チ ン コ	オ メ ガ	九 条 商 店 街
	政		
	大阪ドーム		